

Motorsport News

International Edition – N°4 August 2023

オーストラリア

ウィンターボトム、ダーウィン・レースウェイを制す

DEWALTレーシングのドライバー、マーク・ウィンターボトムは、ダーウィン・トリプルクラウンで行われたレプコ・スーパーカー選手権第13戦で勝利を収め、チーム18の今シーズン初勝利を飾った。シーズン残り2戦に向けた、明るい兆しとなった。// 3ページ目



オーストリア

勇気と尊敬！

FUCHSオーストリアのサポートにより、若手車いすライダーのヤコブ・ローレンツ選手が、FIMヨーロッパハンディブリヂストンカップで1位と2位を獲得した。数日後、ヤコブはFUCHSオーストリアがスポンサーを務める第20回ルパート・ホラウス・レースに参加する。// 2ページ目

ドイツ

ブラック・ファルコン、NLS第4戦で勝利

ムスタファ・メフメット・カヤ、ガブリエレ・ピアーナ、マイク・シュトゥルベルグは、ポルシェ992GT3カップで極めて強かつ完璧なパフォーマンスを披露しました。4時間に及ぶレースの末、ドライバーたちはCUP2] AMクラスで優勝を飾り、CUP3カテゴリーでも堅実なフィニッシュを果たしました。// 6ページ目





オーストリア

ヤコブ・ローレンツの驚くべき勝利

ヤコブ・ローレンツの人生が悲劇的に転じたのは18歳のことだった。帰り道にKTM640に乗っていたヤコブは、重大な交通事故に巻き込まれた。事故から奇跡的に生還した彼は、何度も手術を受け、脊髄損傷であることを知った。

ヤコブがあきらめることはなかった。半年にわたる熱心なリハビリの後、彼は野心的なレーストラック・プロジェクトに着手した。彼の新しいマシンはヤマハR6に改造された。厳しいトレーニングセッションとチャレンジングなレースを経て、彼は現在、障害者ライダーのための特別選手権であるFIMヨーロッパ・ハンディ・ブリヂストン・カップに参戦している。

ヴァレルンガ（イタリア）での初レースで、ヤコブはその卓越した才能を発揮し、センセーショナルな1位と2位を獲得した。彼の決意の証として、彼は現在、FUCHSオーストリアの支援を得て、スピルバークで開催される第20回ルパート・ホラウス・レースへの参加に向けて準備を進めている。

「ヤコブの参加を可能にしてくれた主催者のIGFCフォーメル・クラシックに特別な感謝を捧げます」と、FUCHSのアプリケーション・エンジニアリング責任者マルクス・コレンツ氏は述べた。

ヤコブの成功に貢献したFUCHSの潤滑油: Silkolene PRO 10W-50 XP, Silkolene ALL-IN-ONE, Silkolene PRO CHAIN, Silkolene PRO PREP, Silkolene WASH OFF.



オーストラリア

ウィンターボトム、2023年ダーウィンで初優勝を祝う

DEWALTレーシングのドライバー、マーク・ウィンターボトムは、ヒドゥン・バレー・レースウェイで開催されたダーウィン・トリプルクラウンド、レプコ・スーパーカーズ・チャンピオンシップの第13レースを制し、Team18の初優勝を飾った。

2013年バサースト1000のウィナーで、2015年のスーパーカー・チャンピオンであるマークは、予選3番手からスタートし、ターン1でブロック・フィーニーをパスして2番手に上がり、レースリーダーのキャム・ウォーターズの後ろについた。ドライバーのスコット・パイは、2台とも予選8番手から決勝10番手まで順位を上げた。ウォーターズがアクシデントに見舞われたため、2周目にセーフティカーが出動したが、チームは見事なダブルスタックを決めてマークをトップに返り咲かせた。その後のセーフティカーによる再スタートをし、後を追うフィーニーのプレッシャーを凌いでコンマ5秒差でチェッカーを受けた。

マーク・ウィンターボトムは言った。「レースに勝った！信じられない瞬間だ。サーキットにいるみんな、ワークショップにいるみんな、そしてスポンサー、ファン、サポーターのみんなの努力の賜物だ。本当に素晴らしい瞬間だった、応援してくれたみんなには感謝してもしきれない。僕らは1勝した。全部勝つとは言わないけど、トロフィーを手にするのはいい気分だ。明日はまだレースが残っているけど、このトロフィーは僕たちのものだ」

FUCHS 製品: TITAN RACE SYN 20, TITAN CYTRAC TD 75W-90





ジンバブエ

ラデマイヤーが2連勝

ジンバブエ・サルーンB選手権第3戦と第4戦は、カルヴィン・ラデマイヤーにとって好結果となった。ラデマイヤーは熾烈な戦いが繰り広げられた2023年チャンピオンシップのこの2つのラウンドで勝利を収めたのだ。

第3戦はラデマイヤーのホームサーキットであるブラワヨで開催され、ラデマイヤーは予選でポールポジションを獲得。ヒート1で優勝、ヒート2で2位となり、総合優勝を飾った。ブラワヨ100のメインレースでは、15番グリッドからスタートしたが、後続を引き離して堂々の2位でゴールした。「今日のパフォーマンスには満足している。今年の選手権は非常にタイトなので、このような小さな勝利が大きな意味を持つ」

第4戦はハラレのドニーブルック・サーキットで開催され、ラデマイヤーにとっては決して得意なサーキットではなかったが、チームは確かな結果を確信していた。予選では、FUCHSの潤滑油剤を入れたZimbabwe VW Polo 6を駆り、非常に速いタイムでポールポジションを獲得した。「ヒート1は、スタート時の戦術に疑問はあったものの、それほど難しいものではなかった。それ以外はクリーンなパスができ、優勝することができた」ヒート2ははるかにシンプルなものだった。スタートの手順を映像で確認し、何をすべきかはわかっていたようだ。そこからカルヴィンはクリーンかつスピーディーに走り、苦手なサーキットで最速タイムを叩き出した。「総合的に見て、今日の勝利には満足している。ラップタイムはこのサーキットでこれまでで最も速かった。選手権第5戦はブラワヨ・モータースポーツパークに戻り、FUCHS Lubricants in Zimbabwe John Love Race Dayが開催される。私の目標は、いくつかのレースで勝利し、タイトル・スポンサーの名を冠した銀メダルを持ち帰ることだ」

チーム・ラデマイヤーは、今シーズンのFUCHSジンバブエの揺るぎないサポートに感謝し、FUCHSの旗を高く掲げ続けることを望んでいる。

FUCHS製品: TITAN PRO RACE 10W-60, TITAN SINTOPOID LS 75W-90, MAINTAIN FRICOFIN LL50, MAINTAIN Dot 5.1



イギリス

プリチャード、エピントのBHRCマスタートクラスをプロデュース

ジェイソン・プリチャードは、ツアー・オブ・エピントで圧勝し、5年ぶりとなるFUCHSルブリカント・プリティッシュ・ヒストリックラリー選手権の勝利を獲得した。

スタートで出遅れたプリチャードとコ・ドライバーのフィル・クラークは、雨に濡れた午後の周回ステージで現在ランキング首位のニック・エリオットをオーバーテイクして優勝を飾り、彼の新車Ford Escort MKIIに完璧な初出場をもたらした。

午前中の大半は主導権を握っていたにもかかわらず、ニック・エリオットとデブ・ブライスが、いつものFIAT 131からEscort MKIIに乗り換えたため2位に甘んじ、リチャード・ジョーダンとジェームス・グラットン・スミスは3位でBHRCのベストリザルトを獲得した。

この過酷なエピント・ミリタリー・レンジは、今シーズン唯一のアスファルト・ラウンドであり、少人数ながら競争力のある選手たちが、約70マイルにおよぶ難しいムーアランドのテストに挑んだ。

「BHRCで新車で優勝できたことは、この上ない喜びだ」とジェイソンは語る。「特にスコット・ウィリアムズ・モータースポーツが僕のために作ってくれた素晴らしいEscortで戦えるのは最高だ。コンディションの変化もそれに拍車をかけているし、挑戦することが大好きなんだ。いつもBHRCを楽しんでいる」

エリオットは2位を喜んだ。「今日のスタート時点で目標としていた結果だ」エリオットの2位獲得は、2023年まで残り3戦となったチャンピオンシップでのリードをさらに広げることになる。

第4戦終了後のBHRC暫定順位（ポイント）：
1.ニック・エリオット（100）、2.トム・ウォルスター（91）、3.ロジャー・チルマン（90）、4.リチャード・ジョーダン（84）、5.ジェイソン・プリチャード（59）



ドイツ

センセーショナルな勝利！ BLACK FALCON

BLACK FALCONは、ニュルブルクリンク耐久シリーズ（NLS）第4戦のポルシェ・エンデュランス・トロフィー・ニュルブルクリンク（PETN）CUP2クラスのAMクラスで優勝を飾った。さらに、チームはPorsche 992 GT3カップの2台で総合トップ10入りを果たした。PETNのCUP3クラスのAMクラスでは、Porsche Cayman GT4が4位に入りました。

BLACK FALCONのチーム代表兼マネージングディレクターのアレクサンダー・ベームは、次のようにコメントした。「24時間レースでは不運に見舞われましたが、メフメットのNLSが戻り、CUP2JAMで勝利したことにとっても満足しています。残りのシーズンで可能な限り多くの好成績を積み重ねたいと思います。

一方、IDENTICAのふたりはマシン運に見放されて、レース終盤に電動パワーステアリングが故障してしまった。明らかにオーバーヒートによるものです。ピットレーンに入る直前に故障が発生したため、リセットをかけてマシンをコースに戻すことができたのは幸いでした。そしてCayman GT4ですが、問題なく通過しました。キャベル、アイスマン、マーティンは、激しい争いが繰り広げられたこのクラスで非常によく走り、堅実な結果をもたらしました」





ドイツ

BLACK FALCON 6時間のヒートバトルを制す

ニュルブルクリンク耐久シリーズ (NLS) の6時間レースで、ブBLACK FALCONはポルシェ耐久トロフィー・ニュルブルクリンク (CUP2クラス) のAMクラスでクラス優勝、PROクラスで2位を獲得した。これは、チームがパーミットBのポルシェドライバートリオがノルドシュライフェのパーミットAを目指す上で必要な3つの条件のうち、最初の一つを達成するための一勝となった。

BLACK FALCONのチーム代表兼マネージング・ディレクターであるアレクサンダー・ベームは、次のように語った。「992カップの2台は、力強いドライビングのおかげで素晴らしい結果を残しました。私たちのクルーは、すべてのピットストップでミスなく迅速に作業し、好成績に決定的な貢献をしました！パーミットBケイマンでは、計画通りにレースを完走し、ミスありませんでした。これによって、オレクシー、マット、トムはパーミットAに一步近づき、早ければニュルブルクリンク12hで達成することができます。マシンの高い安全基準のおかげで、#931ケイマンの高速スピードでの事故でもドライバーは無事でした。我々はクルマを直して、予定通りニュルブルクリンク12hに参加します」

NLSはシーズンはハイライトであるニュルブルクリンク12時間レースで再スタートし、同じ週末に2つの独立した6時間レースとして開催される。





南アフリカ

ジェイミー・ベリーの連勝記録

ウェスタンケープ・オフロード・シリーズの第4戦は、ジュニア85ccクラスで2023年の第1戦を制したジェイミー・ベリーが、多くの希望を胸にスタートした。「バイクの調子があまり良くなかったので、何事もないうつすら祈ってました。最終ラップで首位を独走していましたが、変な音がしてチェーンがひどく伸びていることに気づき、2位のライダーがピットに入ってくるのが見えました。父と2人のメカニックが懸命に泥を落とし、チェーンを締めってくれたおかげでレースを終えることができました。私は着実に、しかし速く走り、2位との差を広げ、1位でフィニッシュラインを通過しました。スムーズな走りを維持するために父が使ってくれたFUCHSの素晴らしいチェーンプレーを感謝しています。

その数日後、ジェイミー・ベリーはCSMXリージョナル第2戦で優勝した。また、最速ラップタイムを記録したトロフィーも獲得し、現在ジュニア85cc選手権をリードしている。

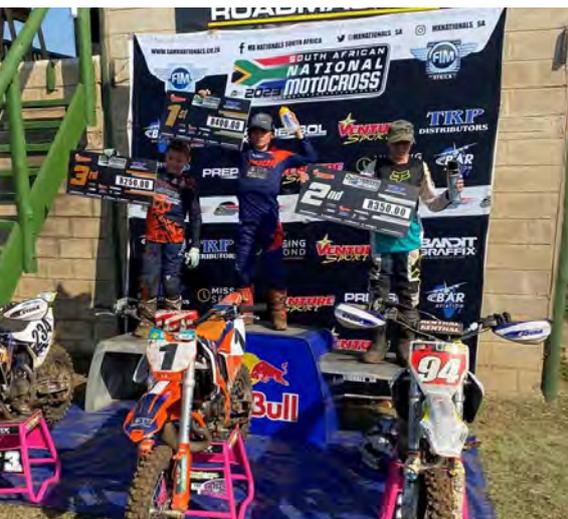
南アフリカ

ジェイデン・プロクターが大活躍

MSA MXナショナルズ選手権の全7戦のうち第6戦がテザ・モトクロス・トラックで開催された。ジェイデンはホンダCRF450Rで、彼が思い描いていた力強さを見出し、ヒート1で3位、ヒート2で2位、MX1クラスで総合2位となった。

MX2クラスでは、良いスタートが切れなかったものの、終始驚異的なペースをキープして総合4位となった。「1周目で転倒してしまったので、5位以内に入るのは大変だった」とジェイデンは語る。

FUCHS製品: Silkolene MAINTAIN FOAM FILTER OIL, Silkolene PRO 4 10W-30, Silkolene PRO CHAIN, Silkolene TITANIUM CHAIN LUBE



南アフリカ

クレッツマン、悔しさ残りつつ2位を獲得

SA MX選手権第5戦、予選での好成績からトレントン・クレッツマンは2番グリッドからスタートした。ヒート1では素早いスタートでトップに立つも、些細なミスで2位に後退。ヒート2でもトレントンが勢いよくスタートし、8秒差でレースをリードした。しかし、最終ラップに轍に激突し、激しく転倒。彼は立ち上がったが、残念ながらリードを失い、2位でフィニッシュした。「5ポイント差で1位を失って非常に落胆している」とトレントンは悔しさを表した。



南アフリカ

マーク・グリードとディラン・バンバーガーの表彰台

2023年のアイスブロック大会は、全国サンダーキャット選手権の第3戦と併催された。他のフラットウォーターイベントと同様、レース艇から最大限にスピードを引き出すためには、膨大な準備が必要だ。FUCHSのドライバーであるマーク・グリードと彼のコ・ドライバーであるディラン・バンバーガーは、自分たちにフラットウォーター・スペシャリストのトップチームと競い合えるスピードがあることを確信していた。

不運にも大雨でヴァールダムまでの道路が閉鎖されたため、チームはボートをテストすることができず、事前準備の整わない状況でサーキットのレース用エンジンを搭載することを余儀なくされた。

不安の残るチームだったが、第1ヒートと第2ヒートでは3位に入った。結果、12艇中4位で9週の決勝のスタートを迎えた。第1ターン付近で好スタートを切った。レースは大接戦となり、神風に翻弄されたドライバーたちが荒々しいオーバーテイクを試みる場面もあったが、チームは総合3位でフィニッシュできた。

次のレースでは、ヴァール・ダムの広大なエリアを走る160kmのイベントのスタートのために、チームは長距離レース用エンジンを装着した。「これは私たちにとって新しい経験だった。ボートをセットアップする時間は、今回も非常に限られていた。2023年アイスブロックは、貴重なチャンピオンシップポイントを獲得することができた。FUCHSの継続的なサポートと優れた製品の供給に感謝します」

南アフリカ

極限状態で表彰台に

イアン・ルールがGXCC選手権第4戦で驚異的な走りを見せた。「すごくダスティなレースだった！良いスタートと楽しいバトルだったが、回避可能なはずの2つの転倒に見舞われてしまい、クラス3位と総合3位でフィニッシュした。FUCHS Silkolene FOAM FILTER OILのおかげで、ダストはまったく入らなかったし、バイクは飛んでいたよ！」イアンは現在、GXCC選手権で同率一位につけており、次の優勝を目標に集中している。



南アフリカ

マーク・アンズレーがダブル優勝

Womzaモトクロス選手権第3戦とWomzaモトクロス選手権第2戦がテザ・モトクロス・サーキットで開催された。ビッグジャンプと整備された土壌を持つこのコースは、現在、国内最高のサーキットのひとつだが、気の弱い人には向かない。

マーク・アンズレーはMX3マスターズクラスの予選で1位を獲得。マークはレースについて「ヒート1ではホールショットを奪い、1周目をリードした。いい流れで後続を引き離すことができた。テクニカルなコースは僕のライディングスタイルに合っていて、1分以上の差をつけることができた。ヒート2でもホールショットを奪い、激しい車輪跡でコースは荒れた。スムーズなライディングで後続を引き離し、ヒート2でも優勝することができた」と述べた。

この2勝で、マークはMX3マスターズクラス総合1位を獲得した。



南アフリカ

テリー・ウィルフォード、 技術的課題を克服

2023年モービル1 V8スーパーカー選手権の第2戦がデルマスのレッドスター・レースウェイで開催された。

3回のプラクティス・セッションを経て、640馬力のFUCHSフォード・マスタングは予選に臨んだ。この日最速タイムを記録したが、最終ラップでリアサスペンションの部品が故障してしまった。

数分後、チームはマシンをレース・ショップに持ち帰って修理することにした。夜通し作業した後、朝の予選に間に合わせ、3位でスタートラインに立った。

「レース1では、スタートは良かったものの、マシンのベースを妨げる何かはまだあることに気づいた。第2レースでは、必要と思われるすべてのセットアップ変更を行った。オーバーテイクできる場所が限られているなかで、少しでもポジションを上げようとプッシュしたが、それでも理由も分からず苦戦を強いられた。結局、総合6位という残念な結果に終わったが、点検の結果、これは気づかないうちに部品の不具合が発生していたことが判明した。エンジンをフルパワーに保ってくれる素晴らしいオイルを提供してくれたFUCHSには感謝している」

撮影: Mobil 1 V8 SUPERCAR Photography



南アフリカ

表彰台を祝うジェイソン・クッツィー

全7戦で争われるインベストケム・フォーミュラ1600の第4戦がアルド・スクリバンテ・サーキットで開催された。ジェイソン・クッツィーは力強い走りを見せ、レース1、2、そして総合で最速ラップを記録して2位となった。「本当に素晴らしい週末だった。いくつかのミスを犯したが、それを教訓にして、次戦のイースト・ロンドン・グランプリ・サーキットに向けて修正していく」

ジェイソン・クッツィーは、SAナショナルズ第4戦ロータックス・マックス・チャレンジにも出場。レース1では2位、レース2では5位、レース3では最速ラップを記録して2位となった。

南アフリカ

ヨハン・フォーグレザング、新たな冒険へ

SA MXナショナルズ選手権の第5戦に備えるため、ヨハン・フォーグレザンはフリーステート&ノーザンケープMXリージョナル・レースの第4戦に出場した。「2回中2回ホールショットを決めて優勝し、チャンピオンシップ・ポイントのリードを広げることができた」

同じ目的で、ヨハンは州内モトクロスと州対抗モトクロスの第2ラウンドに参加した。これは、主なライバルを相手に自分のスキルを試す絶好の機会となった。「テザ・ナショナル・トラックは、開催されるレースのなかでも最高のサーキットのひとつとされている。レース前にテストできたのはラッキーだった。レース1では、追い抜こうとして難しいフープセクションを飛ばそうとして激しく転倒した。大きな怪我はなかった。ポジティブな点は、マシンに変更を加えることができたことと、上位のライダーたちと一緒に走れるスピードがあることがわかったことだ」

転倒後、ヨハンはSA MXナショナルズ選手権に出場することができなかった。「テザに向かうまでの数週間は、とても良いフィーリングでトレーニングに励んできたし、スピードも自信もあった。残念ながら、第1レースでミスをしてしまい、これまで積み重ねてきた成果を発揮することができなかった。次戦では上位を走り、好成績を残したい」

FUCHS製品: Silkolene PRO 4 10W-60 XP, Silkolene TITANIUM DRY LUBE, Silkolene FOAM FILTER OIL, Silkolene FOAM FILTER CLEANER, Silkolene PRO BOOST, Silkolene WASH OFF





アレッシオ・ディ・シエナ



2位に立つドゥメル・デュ・プレシ



ケビン・リー



南アフリカ

FUCHSライダー達の才能をお披露

TITANSレーシングチームは、FUCHSシルコレン・ファームジャムシリーズに参戦するライダーで構成されている。FUCHSがスポンサーを務める全5戦のうち、第3戦がミデルブルグで開催された。

ルカ・ディ・シエナは、Sherco SE 125ファクトリー2022を駆り、S3アマチュアクラスで優勝した。

アレッシオ・ディ・シエナはS3ノービス・クラスで4位に入賞した。「トップ5入賞の賞品としてFUCHS CHAIN LUBEをもらった。FUCHSの全てのサポートに感謝している」

ケビン・リーは、彼の250の2ストロークマシンで350の4ストロークマシンと競った。「総合ラップでトップとなり、S2 PROクラスで4秒差の2位となった。このシリーズでのレースは初めてでしたが、次回のFUCHS Silkolene Farm Jamイベントが待ちきれません」

ドゥメル・デュ・プレシはシェルコ300で駆り、Sプロクラスで2位に輝いた。「タイトで激しいバトルが繰り広げられた素晴らしい一日だった。私は450の4ストロークと競争したが、とんでもないレースだった。泥と岩だらけのコースに芝生セクションがあり、レースにはもってこいだった。いくつかのボトルネックがレースを変えた。私のバイクを夢のように走らせてくれるFUCHSのシルコレン製品に心から感謝している」

(次ページへ続く)

FUCHS製品: Silkolene FOAM FILTER OIL, Silkolene FOAM FILTER CLEANER, Silkolene PRO CHAIN, Silkolene TITANIUM DRY GEL SPRAY, Silkolene COMP 2 PLUS, Silkolene PRO 4 XP 15W-50, Silkolene WASH OFF



ルカ・ディ・シエナ

南アフリカ

FUCHSライダー達の才能をお披露



若き天才ライダー、デヴィッド・クラーク

65ccクラスと85ccクラスで2年間活躍した後、デヴィッド・クラークは13歳という若さで高校生クラスと150ccバイクに移ることを決断した。

今シーズン、デヴィッドはハイデルベルクで開催されたエンデューロXC世界選手権（EWXC）高校生クラスの最終戦で優勝した。この勝利により、デヴィッドはKTM 150 XCWで2023年のエンデューロ世界高校生選手権に参戦することが決定した。

2021年、デヴィッドは65EWXC選手権を走り、同年、ドラケンスバーグ山脈で開催されたマルチステージのインピで史上最年少のシルバークラス完走者となった。

昨年、デヴィッドは85に乗り換え、EWXC選手権、ローベルド・エンデューロ選手権、そして大一番、南アフリカJ3（85）エクストリーム・エンデューロ選手権で優勝した。2022年、デヴィッドはインピのゴールドクラスで史上最年少の完走者となった。

デヴィッドは語った。「ハイスクールクラス参戦1年目にしてエンデューロ世界クロカン選手権を獲得できたことを、とても嬉しく思っていますし、次はゴールドクラスで5度目のインピへの挑戦を楽しみにしています。最後になりましたが、TITANS、FUCHS、LEATTのすべてのサポートに感謝します」

ブロディ・グリフィンの偉業

ローベルド・ハードエンデューロ・シリーズの第3戦は、クルーガー国立公園に隣接する美しいヘイジビューで開催され、非常にチャレンジングなコースがいくつも用意された。TITANS FUCHSのライダー、ブロディ・グリフィンは、シルバーAクラスで、最も近いライバルを1時間引き離す見事な走りで見事な優勝を飾った。

「スタート直後、前のライダーと1位争いをしていました。最初の坂道でリアブレーキレバーが岩に引っかかって折れてしまい、そのせいで残りのレースで時間と体力を消耗してしまいました。それを補うために、簡単なセクションでさらにプッシュした。その後のレースはアクシデントもなく、なんとか1位を獲得することができました。TITANSレーシングチームの素晴らしいピットサポートと、バイクを最高の状態に保ってくれる潤滑油のFUCHSに感謝している」と彼は語った。

